

## エチレンセンター10社の収益状況について (平成28会計年度)

平成29年7月31日  
製造産業局 素材産業課

平成28年度のエチレンセンター10社の石油化学部門の売上高は、原料ナフサ価格の下落に伴い、石油化学製品の販売価格が低下したことにより、2兆8,912億円と前年同期に比べ26.7%の減少となった。

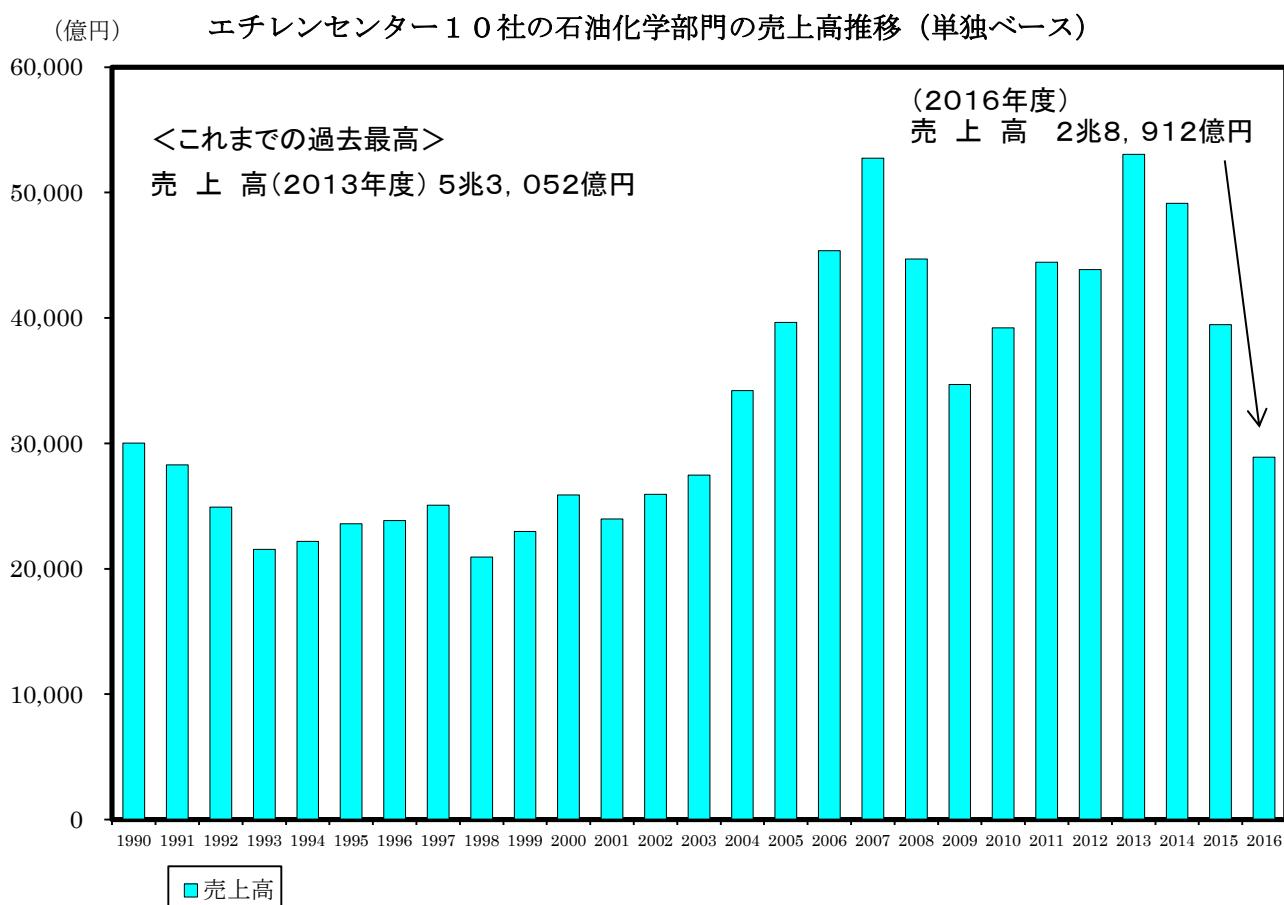
また、経常利益については、アジアでの堅調な需要を受け、高稼働が続いたことや市況が堅調に推移したことにより、2,302億円と、前年同期に比べ23.2%の増加となった。

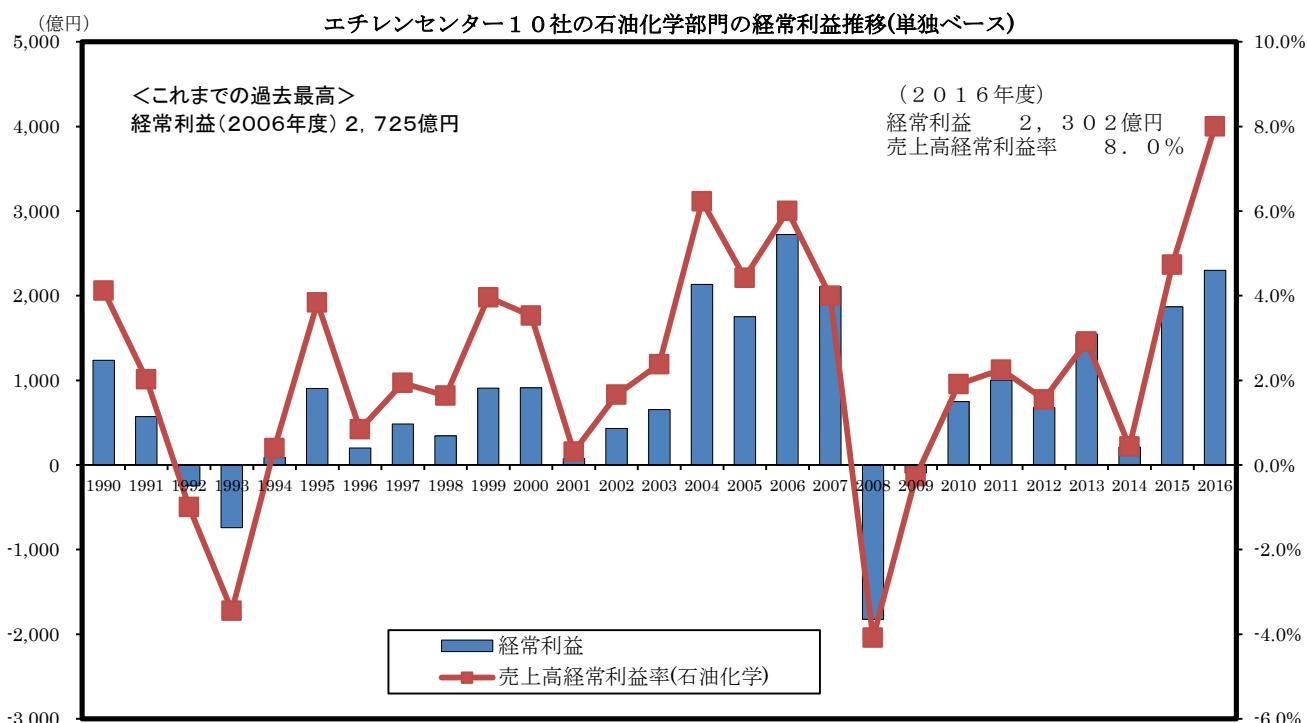
この結果、売上高経常利益率は8.0%と前年同期に比べ3.3ポイントの増加となった。

( 売 上 高 ) 2兆8,912億円 (対前年同期比 26.7%減)

( 経 常 利 益 ) 2,302億円 (対前年同期比 23.2%増)

(売上高経常利益率) 8.0% (対前年同期比 3.3ポイント増)





### エチレンセンター10社の収益推移(単独ベース)

(単位: 億円)

年度		24	25	26	27	28
石油 化 学 部 門	売上高 [億円]	43,854	53,052	49,143	39,462	28,912
	(前年同期比: %)	(-1.3)	(+21.0)	(-7.4)	(-19.7)	(-26.7)
	営業利益 [億円]	460	1,443	221	2,022	2,302
	(前年同期比: %)	(-34.8)	(+214.0)	(-84.7)	(+817.1)	(+13.8)
	経常利益 [億円]	679	1,548	213	1,868	2,302
全 社	(前年同期比: %)	(-32.2)	(+127.8)	(-86.2)	(+777.0)	(+23.2)
	売上高経常利益率(%)	1.5	2.9	0.4	4.7	8.0
	売上高 [億円]	58,996	68,985	66,125	54,680	39,204
	(前年同期比: %)	(-2.1)	(+16.9)	(-4.1)	(-17.3)	(-28.3)
	営業利益 [億円]	820	1,759	1,105	3,067	3,099
	(前年同期比: %)	(-32.3)	(+114.5)	(-37.2)	(+177.7)	(+1.0)
	経常利益 [億円]	1,555	2,775	2,144	3,472	3,448
	(前年同期比: %)	(+1.7)	(+78.5)	(-22.7)	(+62.0)	(-0.7)
売上高経常利益率(%)		2.6	4.0	3.2	6.3	8.8

(平成28年度集計対象)

三菱ケミカル旭化成エチレン(株)、出光興産(株) <石油化学部門>、大阪石油化学(株)、昭和電工(株)、JXTG エネルギー(株) <石油化学部門>、東ソー(株)、東燃化学(同)、丸善石油化学(株)、三井化学(株)、三菱ケミカル(株) ※ <> は各企業の集計対象とした部門

【参考】

エチレンセンター10社の石油化学部門の収益推移(連結ベース)

(単位:億円)

年度		24	25	26	27	28
石油 化 学 部 門	売上高 [億円] (前年同期比:%)	64,313 (-2.6)	76,788 (+19.4)	78,390 (+2.1)	68,604 (-12.5)	62,779 (-8.5)
	営業利益 [億円] (前年同期比:%)	839 (-57.9)	2,112 (+151.7)	1,716 (-18.8)	4,266 (+148.6)	5,401 (+26.6)
	売上高営業利益率(%)	1.3	2.8	2.2	6.2	8.6

注)連結対象会社の変更等があるので、前年度と単純な比較はできない。

(平成28年度集計対象)

旭化成(株) <マテリアル部門>、出光興産(株)<石油化学製品部門>、昭和電工(株) <石油化学部門>、JXTGエネルギー(株)<石油化学部門>、住友化学(株) <石油化学部門、エネルギー・機能材料部門>、東ソー(株) <石油化学部門>、東燃ゼネラル石油(株) <石油化学事業部門>、丸善石油化学(株)、三井化学(株) <モビリティ部門、基盤素材部門>、(株)三菱ケミカルホールディングス<ケミカルズ部門、ポリマーズ部門>

※<>は各企業の集計対象とした部門